

プラシャーンティ評議会議長

ナレンドラナート・レッディー博士のビデオメッセージ

2018年12月

愛と崇敬と感謝を込めて、私たちの愛する遍在の主、バガヴァン・シュリ・サティヤ・サイ・ババ様の蓮華の御足にお祈りを捧げます。

親愛なる兄弟姉妹の皆様、愛を込めてサイ・ラムと申し上げます。皆様が、愛と喜びと平安をもって、幸福で神聖な祭日と2019年のお正月を迎えることができますよう願っております。今日はクリスマスです。私たちの多くは、この時期に家族や友人たちと愛と感謝を分かち合います。これまでに受け取った最も貴重なプレゼントは何であったかを思い出しましょう。それは現代のアヴァターであるバガヴァン・シュリ・サティヤ・サイ・ババ様と同じ時代にいるということです。彼は愛の化身であり、彼は二本の足で歩く愛そのものであり、私たちがどこにいようと、常に、私たちを導き、守護し、守ってくださる、永遠の友人です。それが彼の無条件の愛なのです。人間が神につけたあらゆる名と姿が、サイの人間の姿の中に顕現しています。

今日は、スワミがクリスマスの御講話の中で、私たちに明かしてくださった二つの意義深い啓示を思い出しましょう。一つ目の啓示は、1972年12月24日に行われた御講話の中で明かされました。「イエスは愛と犠牲と許しの権化でした」とスワミはおっしゃいました。スワミはシンプルな言葉で「私を遣わされた方が再びやって来る」とおっしゃって、仔羊たちを指差されました。仔羊は愛のしるしであり、象徴です。仔羊は「バーバー」と鳴きます。それはババの降臨を知らせているのです。イエスは「その方の名前は真理である」と言いました。真理はサティヤです。「その方は小柄で、髪は王冠のようで、燃えるような赤色のローブをまとっている」「そのバーバーが、このババであり、サイなのです」とスワミはおっしゃいました。なんと喜びに満ちた啓示であり、祝福でしょう！

二つ目の啓示は、1998年12月25日に行われたクリスマスの御講話の中で明かされました。スワミはおっしゃいました。誰かがあなたにサティヤ・サイ・ババについて尋ねたら、この歌を歌いなさい。それがすべてのメッセージを伝えるでしょう。「愛は私の姿、真理は私の息吹、至福は私の生きる糧、私の生き方が私のメッセージ、広がるのが私の人生、愛に理由はなく、時はなく、生も死もない」スワミの姿は愛です。

この貴重なプレゼントを受け取っているのなら、どのようにして感謝を表したらいいのでしょうか？それは暗黙のうちにサイの御教えに従うことによって表されます。お正月がやって来ると、新しい抱負を立てる人がたくさんいます。今日は、スワミが与えてくださったシンプルで実際的で力強いメッセージを皆さんと分かち合いたいと思います。それは、私たち全員が日々の生活の中で実践できるものです。

一つ目は、常に肯定的な態度でありなさいと、スワミがおっしゃったことです。サイは私たちにこのように忠告なさいました。「善を考えなさい。悪を考えてはなりません」善を見なさい。悪を見てはなりません。善を聞きなさい。悪を聞いてはなりません。善を語りなさい。悪を語ってはなりません。善を行いなさい。悪を行ってはなりません。これが神への道です。」これが、ハートを浄める方法です。悟りとは純粋性なのです。

二つ目の深遠で実際的なメッセージは、愛の力についてです。スワミはおっしゃいました。「神は愛です。愛は神です。愛の中で生きなさい。」だからこそサイは、「一日を愛で始め、一日を愛で満ちし、一日を愛と共に過ごし、一日を愛で終えなさい。これが神への道です」と強く推奨なさったのです。

スワミの限りなき愛は、空間、時間、人種、宗教という垣根を越えます。私たちは今、世界中の何百万人という人々の人生にスワミが触れているのを見ています。そしてプラシャーンティ・ニラヤムや世界中のサイ・センターという扉から新しい帰依者たちが今まで以上にやって来るのを見ています。先日、プラシャーンティ・ニラヤムのサイ・クルワント・ホールで行われた御降誕93周年記念祭は、満員であっただけでなく、会場の外にも人々が溢れていました。そしてプールナチャンドラ講堂の近くに座って食事をしなければならぬ帰依者もいました。世界中の帰依者たちが壮大に御降誕祭を祝い、サイの愛、サイのメッセージ、サイの業績を分かち合いました。

サティヤ・サイの帰依者たちが行ってきた多種多様の素晴らしい業績は、御降誕93周年記念祭中にプラシャーンティ・ニラヤムのマハーサマーディに捧げられた2017~2018年度SSIO活動報告書にまとめられています。

この活動報告書のいくつかのページにヴィブリーティが物質化されるという形で、SSIOの全会員と彼らが行い組んできたあらゆる無私の奉仕に対して、サイの愛が注がれ祝福されました。人々は、自分たちが受け取った愛への感謝をスワミに表明しました。

スワミは1968年に東アフリカを旅行され、ケニヤ、タンザニア、ウガンダを訪問なさいました。1968年7月当時、スワミはこれらの国々で10日間過ごされ、現地の部族の人々に、サイの愛と祝福と甘露のごときメッセージを降り注いでくださいました。サイはご自身の愛を、動物、植物、森、滝、自然界すべて、神の被造物すべてに広げられました。東アフリカの兄弟姉妹たちはこの訪問から50周年が経ったことを記念して、すばらしい記念祭を開きました。

スワミはおっしゃいます。「自然は神の衣です。自然は神の顕現です。」ですから、私たちは自然を敬わなければなりません。しかし人間は、利己心や強欲や過剰な欲望ゆえに、無知から抜け出せないまま自然を乱用しています。これに対して私たちが払う対価は、気候変動、地球温暖化、生物多様性の損失、環境汚染、およびそれらが引き起こす私たちの健康問題です。この問題にどのように対処すればいいのでしょうか？

地球に奉仕し、地球を守るために私たちは今年7月にプラシャーンティ・ニラヤムで第1回ゴーグリーン大会を開催し、世界78か国から1000人以上が参加しました。環境科学者や環境問題の専門家たち、この問題に取り組む政策決定者たちによる詳細な審議を経て多くの決議事項が採択されました。地球をよりよくし、私たちの未来をよりよくするために、今、世界中のSSIO会員たちがこれらの決議事項の実践に取り組んでいます。

サイの御教えの模範となることによってサイのメッセージを広めることが最良であるとスワミはおっしゃいます。この言葉を心に刻み、サイ・ユースたちは2015年からリーダーシップ・プログラムを始めました。このプログラムは、スワミの生き方、スワミのメッセージ、スワミの業績をベースにしています。現在、60か国から集まった1000人以上のサイ・ユースがこのプログラムを修了し、SSIOの中で積極的役割を担い、神聖な使命の中で奉仕をしています。

スワミは「ただ一つの宗教があります。愛という宗教です」とおっしゃって、信仰は一つであり、諸宗教は調和すべきであると強調なさいました。今年11月1日～7日には、カナダのトロントで「愛と一体性の力」というテーマで世界宗教会議の125周年記念祭が開催されました。世界80カ国から220の宗教宗派を代表して8千人以上の人々が参加しました。SSIOは、パネルディスカッションと展示会を担当しました。サイ・ユースの合唱や子供たちの劇によってスワミのメッセージと愛と人道支援活動が紹介され、人々はそれらを快く受け入れました。

これらの善い行いをすべて行いながら、常に人生の目的、最終目的地を思い起こしましょう。SSIOは、私たちが生まれながらに持っている神性を実感認識させるためのものです。すなわち、私たちは神聖アートマの化身であり神性愛の化身であるのです。

このことを心に留めながら、私たちはさまざまな全国キャンプや地域合同キャンプを開催します。2019年7月からは毎年「SAI 霊性キャンプ」（サイ・スピリチュアル・レトリート）と題した新しい試みがプラシャーンティ・ニラヤムで開催されます。内面に向かう旅や、このゴールにたどり着くための努力を強化する方法に焦点を合わせながら、さまざまな霊性修行やワークショップや講演が行われるでしょう。

さらに私たちは、スワミの御降誕95周年祭期間中に開催される第11回世界大会の準備とプランニングを始めました。また、2021年7月にはユース・フェスティバルが開催されます。

もう一つ、私たちがスワミの御降誕95周年祭に捧げる重要なプロジェクトがあります。それは地球規模で95のコミュニティに無私の奉仕を捧げるアドプション（養子縁組）プロジェクトです。うれしいことに、今年の御降誕93周年祭の時点で既に93のコミュニティと養子縁組が行われたことを皆様にご報告いたします。それらのコミュニティに奉仕するサイの兄弟姉妹のひたむきな姿を目にするのは、とても素晴らしいことです。

最後に、私たちの主なるサイを喜びましょう。愛と一体性と熱意をもって、一点に集中しながら前に進みましょう。スワミが私たち一人ひとりに愛を降り注ぎ、健康で幸福で平安で神聖な長い人生を授けてくださるようお祈りいたします。

ジェイ・サイ・ラム！